

建築設計 (S A 専門科目)

=====

科目名:

建築設計 (英文科目名: Architectural Design)

4 単位 必修 建築学専攻 1 年 通年 実験・実習

担当教官:

瀧澤雄三 (居室: 建築学科棟 3 階) Email:takizawa@oyama-ct.ac.jp

高橋大輔 (居室: 建築学科棟 2 階) Email:daisuke@oyama-ct.ac.jp

授業目的:

1. 実際の建築設計活動のプロセスを学ぶ
2. 計画対象敷地と周辺環境との関係を読みとる
3. サーベイの手法を学び、建築設計のリソースとする方法を学ぶ
4. 建築形態の生成手法を学ぶ
5. 図面と模型のプレゼンテーションを学ぶ。

達成目標:

1. サーベイ (ウォーキング & ディスクリプション) 手法の習得
2. 実際の設計業務の中での図面・模型のプレゼンテーション手法の習得

教科書:

特になし

参考書:

建築デザイン雑誌、建築計画研究関連書籍

学習方法:

予習-授業までに課題に対する検討案を各自制作してこること
授業-持参した検討案のクリティックと今後の課題を指摘する
復習-指摘された事項を修正し、さらに良い案になるよう検討する。

学習保証時間:

300 (分/週) × 30 (週/通年) = 9000 (分/年) = 150 (時間/年)

キーワード:

ウォーキング&ディスクリプション、建築形態、景観デザイン

授業内容:

1. 課題説明、及びサーベイ・分析方法の説明 (1 週)
2. ウォーキング&ディスクリプション (10 週)
3. 調査レポート作成 (3 週)
4. 調査結果プレゼンテーション (1 週)
5. 計画敷地、及び計画施設の決定 (5 週)
6. プレゼンテーション (10 週)

授業方法:

各自の調査結果に対する講評や検討案に対するエスキースを行う。

カリキュラム中の位置づけ：

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

この科目と同時に学ぶ関連科目

地域施設計画論、計画システム論

この科目の後に学ぶ関連科目

建築 CAD 演習、居住地計画論

評価方法：

定期試験は行わない。調査結果のプレゼンテーションと最終的な作品の完成度によって評価する。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

アーバンスケールの建築設計を行うため、とにかく「まち」を歩き、都市を構成している様々な要素を調べた上で、自分の設計したい場所や建物を決定して欲しい。また、沢山の建築雑誌に目を通したり、興味を持った建築物を実際に見て欲しい。

=====